

# 相談室だより No.7

柏市立柏高等学校

相談室



## ＜千と千尋・・・から心理的自立を考える＞

『ジブリで学ぶ心理臨床学「超」入門』\*という特集の中に、本当の自立について考えさせられる文章を見つけましたのでご紹介します。本当の自立を「千と千尋の神隠し」はどう伝えようとしているのでしょうか。（この映画を見ていない方、忘れてしまった方は、分かり辛さをご了承ください）

引っ越しと転校に不満と不安を抱く千尋。湯屋の世界を千尋の夢の中だとして読み解くと、登場人物は千尋の無意識が作り上げているものかもしれません。

「両親」・・・決して優しいとは言えない。勝手に店の食べ物を食べる貪欲さ。完璧ではない親像。

「千」・・・「千尋」という名、つまり自己を奪われた（見失った）状態。

「湯婆婆（ゆばーば）」・・・役立たずはいらないという社会の象徴。

「銭婆婆（ぜにーば）」・・・優しく保護的な親の象徴。

「坊」・・・ずっと赤ちゃんで甘えて暴れていた気持ちの象徴。

「カオナシ」・・・寂しさと不安の象徴。

→ 双子（二人で「銭湯」）  
良悪の二つの側面の象徴

「親なんかいなくなっちゃえ」と親に対する不満が、親を豚に変えてしまったのかもしれませんが、でも、親を助けたい、ハクを助けたい、みんな幸せになって欲しい、という千尋の大切にしたい事が、次第に千尋の意志として現れます。決して完璧ではない俗物である両親を心から受け入れたからこそ、豚となった両親を見分けることができたのでしょう。自立とは、自分も他人も完璧ではないことを受け入れ、誰かのために働き助け、影響を与える存在になることなのかもしれません。

\*日本心理臨床学会発行「心理臨床の広場」Vol.13 No.2 2021 より

### ＜勤務予定＞

\*変更の場合もありますので、相談室前の予約表を確認してください。

11月 November					開室時間・・・12時～18時
月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	
		1 SSW	2 SC・SSW	3 文化の日	 
6 SC	7 SC	8 SSW	9 SC	10 SSW	
13 SC	14 SC・SSW	15 SC	16 SC	17 ×	
20 SC	21 SSW	22 ×	23 勤労感謝の日	24 SSW	
27 ×	28 SC	29 SSW	30 SC		

SC：スクールカウンセラー SSW：スクールソーシャルワーカー

### ＜生徒の皆さんへ＞

- \*相談室は3階大会議室の向かいです。
- \*相談室前のボードが「どうぞお入りください」の時は、ノックをして自由に入って下さい。「面談中」の時は、後でまた来るか、予約をしてください。
- \*予約は、相談室入口に置いてある予約表に名前（イニシャルや記号等でOK）を記入するだけです。もしくは、備え付けの予約票に記入して、ボックスに入れて下さい。
- \*学校に来られない時は、電話相談も可能です。
- \*分からない時は、養護教諭の望月先生か、教育相談担当の竹尾先生に聞いてください。



### ＜保護者の皆さまへ＞

- \*保護者の皆さまの面談も受け付けておりますので、お気軽にご連絡下さい。
- \*担当者が在室している時は、電話で呼び出して頂ければ、名乗らなくても直接話ができます。
- \*担当者が不在の時は、養護教諭の望月先生か教育相談担当の竹尾先生も予約を受け付けますので、電話で呼び出して下さい。
- \*担任の先生を通じてもお申込みいただけますので、ご相談ください。☎ 04-7132-3460